

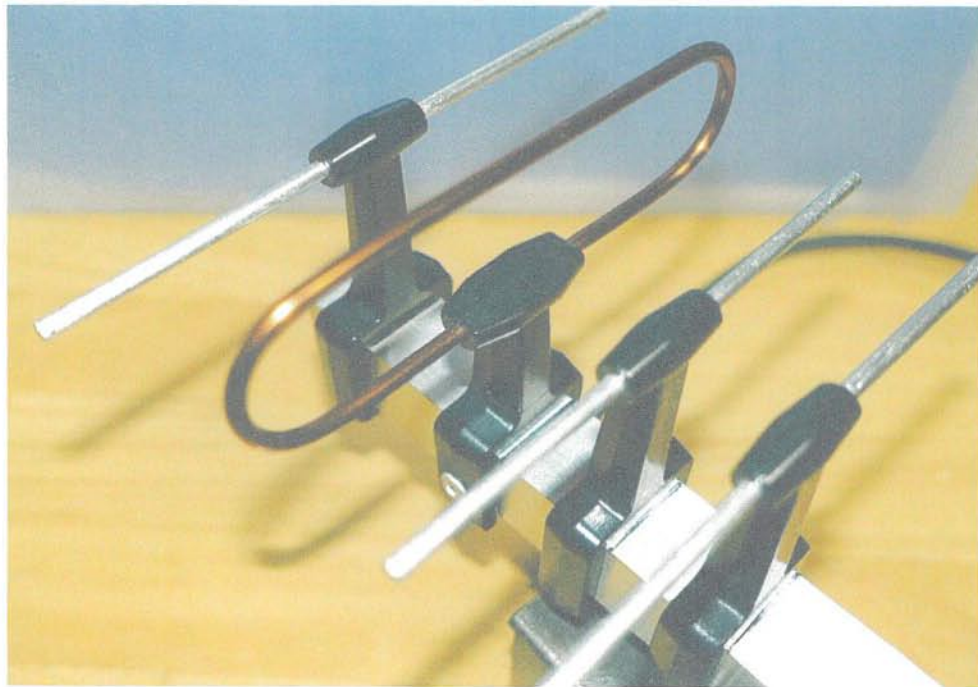
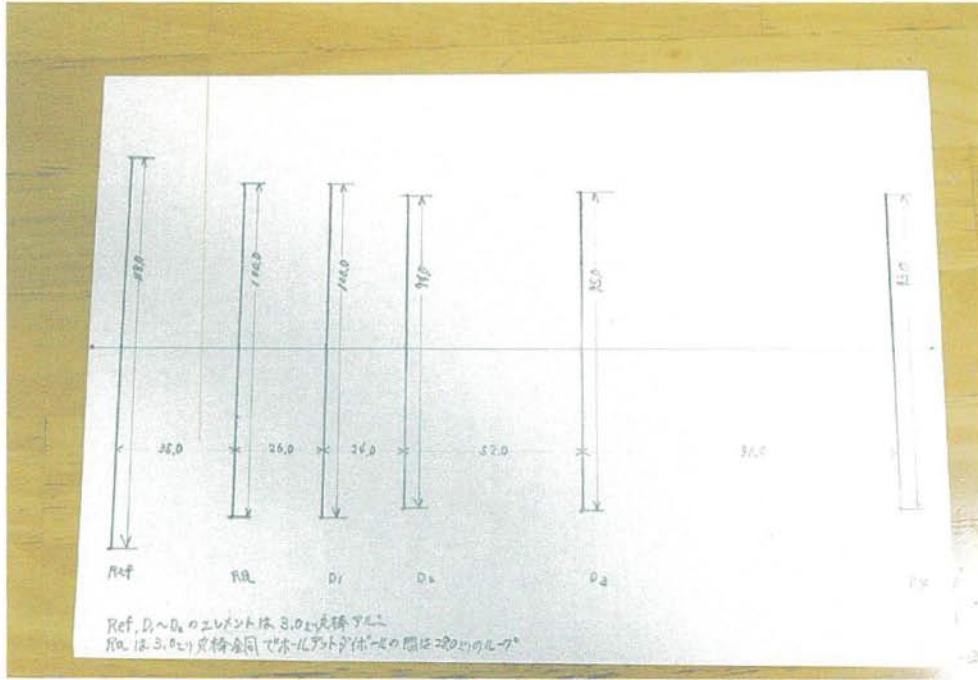
CQ かつがわ
JA2YDX

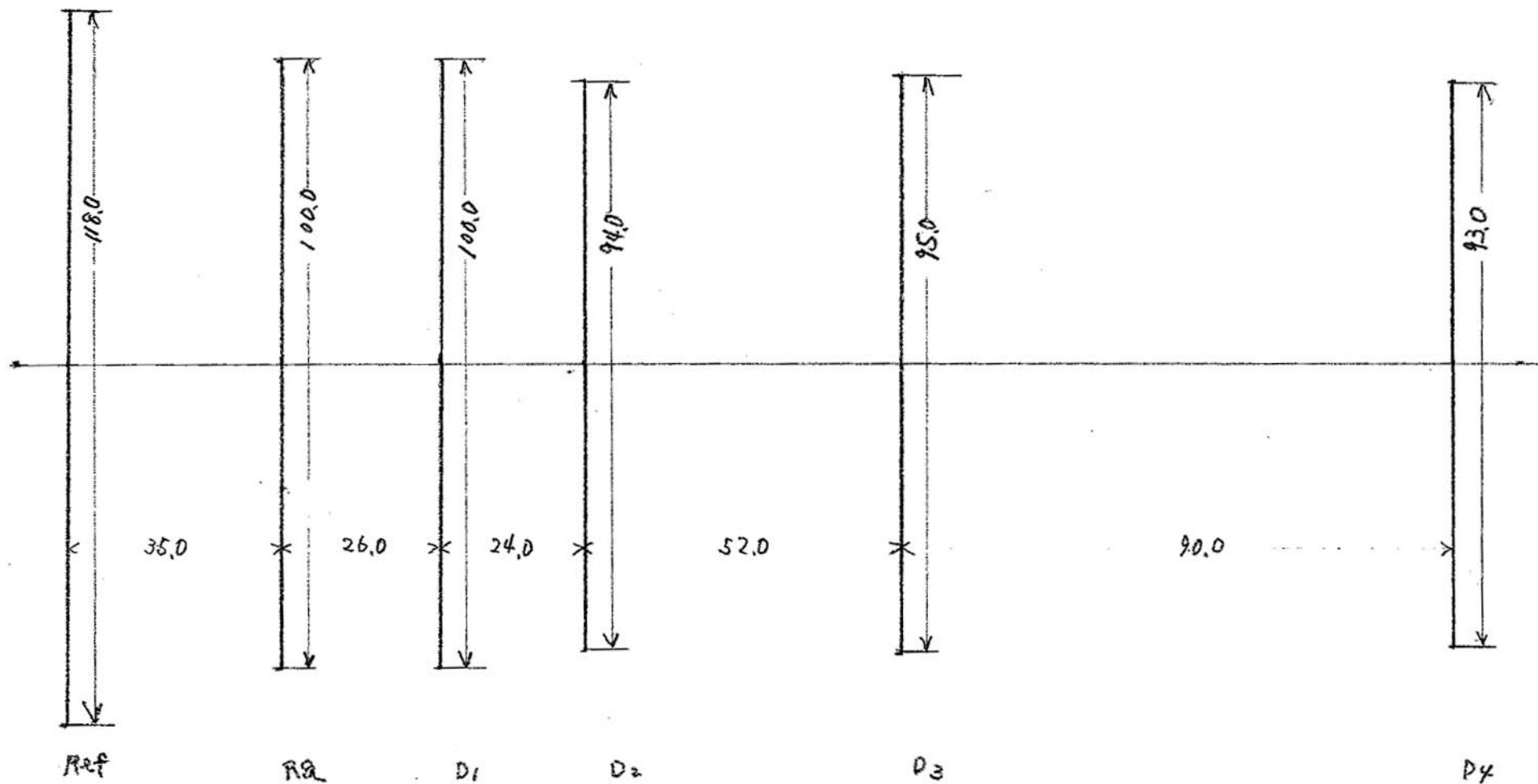


No. 645. FEB. 2025

春日井アマチュア無線クラブ







Ref, D₁ ~ D₄ のエレメントは 3.0mm 穴径アリ
 RA は 3.0mm 穴径金剛でホーリング仕上げの間隔は 280mm のル-7°

皆様新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
今回は新年祝賀にふさわしい能「高砂」について触れさせていただきます。

能は継承されている演劇としては「世界最古」といわれる日本独自の舞台芸術で600年以上の歴史があり、2008年にユネスコの世界無形文化遺産に指定されています。室町時代（14世紀）に成立した能は六百年を越える歴史の中で独自の様式を磨き上げてきた世界に誇る日本の代表的な古典芸能であります。主役であるシテをはじめ、ワキ、ツレなどの役者に加え、囃子方（はやしかた）や、地謡（じうたい）など大勢で構成されます。また能装束や能面を着用し、簡素にして華やかな演出が見どころであります。能の舞の部分を取り出したものを仕舞（しまい）と言い、声楽の部分を取り出したものを謡（うたい）と言って広く親しまれています。この謡の中の聞かせどころの短編を小謡（こうたい）と言います。

高砂は数ある能の中でも特に縁起の良い演目です。登場する松は「常盤木の松」（ときわぎのまつ）とも呼ばれる常緑樹であること。千年の松とも評されるほど寿命が長いこと。風雪に耐え丈夫であることから長寿や天下泰平を寿ぐ（ことほぐ）縁起の良い能の代表的な祝言曲として広く人々に親しまれています。

穏やかな海に松が映える長閑な春の景色を愛で、平和な御代を喜ぶことから始まり、また播州高砂の松と、摂州住吉「すみのえの松」が相生（あいおい）であるという故事になぞらえ、遠く隔たっている仲睦まじい夫婦の偕老長寿の象徴として描かれ、結婚式で多く謡われてきました。

能の後半には住吉明神が現れ、一千年もの長い繁栄をたたえる「千秋楽」（せんしゅうらく）と、一万年もの齡（よわい）を祝福する「万歳楽」（まんざいらく）を神々しく爽快に舞い、悪魔を払い、君民の長寿を寿ぎ、天下泰平を祝福します。

能「高砂」は約1時間30分の上演時間ですが、その中の代表的な祝いの小謡を三つ、口上を添えてご紹介します。

一つ目は「上歌」：戦争の無い平和で豊かな日本に感謝して。

二つ目は「待謡」：春日井アマチュア無線クラブの井戸丸の順風満帆の航海を祝し、

三つ目は「キリ」：春日井アマチュア無線クラブの益々の発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。（キリとは能の最後の聞かせどころ）

全曲の謡本よりそれぞれの小謡の部分を切り取って添付しておきます。

令和7年が春日井アマチュア無線クラブにとって良い年となればと存じます。

高砂 上歌

上歌
地上一 拓合 宇上
四海波静かにて國も治まる時つ

月枝と鳴らさぬ声やあれや。
あひに相生る松こそめでたかり
けれ。げにや仰ましても事も
疎かやある代に優める民とて
豊かある君の恵みぞありがた
ま君の恵みぞありがたま



高砂をゆく人

高砂 待望

待望 打切や 元辰シ 高砂や ころ浦舟に帆をあげて

ころ浦舟に帆をあげて月もろ

ともに出けの波乃淡路乃

鳥影や遠く鳴尾の伴過ぎを

はや佐志に着きにけりはや

佐志に着きにけり

高砂タカサゴキリ

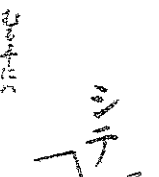
ミテ上のスラリ
げにひまぐりの

舞姫乃聲も澄むあり佳志乃



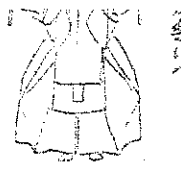
松影も映るある。青海波と
これやらん神と君との道すぐに
都の春に行くとく
ミテスラリ

還城樂乃舞
地サラリ
さうて萬歳の



小忌衣
地サラリ
す腕にの悪魔を
拂ひをさむる手にの壽福を

抱きお杖樂ハ民を撫で。萬歳



樂にハ命を延人相生乃松風
詠乃聲と樂とむ詠乃

聲と樂とむ

長く無線をやっていると、ドラマ様な出来事に遭遇する事もあります

これから、昔、CQ 誌に投稿した事のある非常通信の事をお話しします

この件について、当事者の VK2DGS は所属するイギリス軍人のクラブ RSARS の会報に投稿していますので、
そちらもご覧ください

(25 ページから)

<https://rsars.org.uk/wp-content/uploads/2013/10/mercury-67.pdf>

9 Oct. 1979

06:50JST (日本時間)

21MHZ SSB で VK ノビス局 (オーストラリアの初心者無線局) との交信後、同じ周波数で

May-day May-day

ノイズの中に見え隠れする微かな叫び声が聞こえてきました

その信号は余りにも弱く、途切れ途切れでコールサインさえ確認出来ません

"May-day" とは所謂 "SOS" と同じ、山や海、空の上で命に関わる事態が発生した時発信する遭難通信の用語で、一生に一度経験できるかないかの大事件です

心臓バクバク、冷や汗たらたら、頭はテンパって、もう学校に行くどころではありません

私は、引き続き同じ周波数で遭難通信発信局への呼びかけを繰り返していましたが、信号が弱すぎてなんともなりません

この事態を聞きつけた何人かの VK 局 (オーストラリアの局) や ZL 局 (ニュージーランドの局) が声をかけてくれましたが、全く信号が受信できないようだ

そうこうしている内に徐々にコンディションが上がってきたのか、信号が僅かに強くなり、遭難通信発信局がこれまで毎朝の様に交信していたヨットで太平洋北上中の VK2DGS/MM ゴードンであることがわかり更にビックリ!!

彼の信号はまだ弱くフェージングもあったので事態の概要把握にで手間取りましたが

- ・人的被害なし
- ・強風でメインセイルのマストが折れた
- ・機関 (エンジン) が浸水し動作しない
- ・アンテナが海につかっている

事から、自力航行ができず漂流している事がわかった

VK2DGS/MM の信号はまだ弱く受信しづらかったので、私は屋根の上の 4el 八木アンテナを南に向け、

May-day May-day May-day

This is the distress call.

Is here anybody able to recive the

May Day call from Central Pacific?

とアナウンスしたところシドニー近郊の VK2NND ジョンが応答

彼にゴードンの遭難を伝え協力を依頼したが、ゴードンの電波は全く聞こえないとの事
この最中にも May-day が聞こえてくるが弱すぎてなかなかわからない

08:00JST (日本時間)

交信は全て 21MHz SSB

しかしやっとの事でゴードンの二日前測量したポジションが北緯5度52分、東経152度10分(トラック諸島南方 ※今の)とわかった事から、ジョンにも伝えた上で、私は、名古屋の第四管区海上保安本部に電話通報実施しました

ジョンもキャンベラの Marine Operations Centre に通報したとの事でした

タウンズビルの VK4NMV ボブ (後の VK4WJ) が何か手伝えないかとブレイクしてきましたが、彼もゴードンの信号は取れないらしいようでした

そのうちゴードンからの May day も聞こえなくなった

一体どうなったんだらう？

ゴードンの状況に異変が起きたんか？

彼の事がとても心配になりましたが、遙か彼方の洋上へはすぐに飛んで行く事も出来ません

私はシドニーには VK2NOT コリンというゴードンの友達がいる事を思い出し、その事をジョンに伝えました

ジョンからの電話でゴードンの事を知ったコリンが無線に出てきました

コリンはゴードンの妻マージェリーに電話をかけた事を知りました

この後はシドニーのコリンが中心となり積極的な情報収集が出来ました

色々な局がブレイクを入れてくれて、ゴードンについての情報が入ってきました

- ・ 現在地はトラック諸島 南西 65miles
- ・ 昨日台風にあった
- ・ コーストガードとコンタクトが取れラン
デブー出来そうだ
- ・ ZL とシドニーの局がゴードンとコンタクトしている

当局は以上のことをまとめて海上保安庁に電話をかける。

14:30JST (日本時間)

VK2BMX より

今、14MHz でゴードンが聞こえる

あと 30 分くらいでレスキューとランデブー出来そうだ

とのインフォメーションが入る

すぐに周波数を変え探したところ、14.295MHz SSB でゴードンと KG6JBX グアム、ZL1? ニュージーランド、MS? (軍用機?) 等との交信中でした

遭難船を見つけ、レスキューを手配する旨の通信内容でしたので一安心

15:30JST (日本時間)

海上保安庁名古屋本部より

ゴードンの船は無事救助された

と電話が入りました

これで安心しシャック (無線室) を出る事が出来たのですが、結果的に学校には行かずズル休み? をしてしまいました

以上 私が体験した遭遇通信の内容ではありますが、救助後、ゴードンはヨットの修理完了まで一ヶ月位トラック諸島（現在のチューク諸島）に滞在しています

ゴードンは現地の無線局 KC6CI の 2nd OP としてオンエアしており、遭難の概要を聞く事が出来ました

VK2DGS から聴いた遭難状況まとめ

1979年10月8日(月)

台風遭遇しヨットの

- ・マストが折れ倒れ
- ・エンジンの浸水で機関停止
- ・バックステー・ブラケット破損
- ・メインセール破れ

等の損傷を受けたが、幸いにも人的被害はなかった

15:30 頃 (his local time)

最初の May day call (非常通信)

14MHz でグアムの KG6JBX と交信

同日グアムの米軍機 RT0 54 が捜索にあたるが発見出来ず

10月9日(火)06:50

JE2ARR に May day call

JE2ARR の電波は良好に受信出来たが、アンテナにしていたバックステーが切れて海面についていた事から状態が悪く位置情報等の伝達に手間取った

数時間後、KG6JBX (グアム)、ZL2 SO (ニュージーランド)、MS1-764 (米海軍機) と交信、その後、ミクロネシアの客船 Micro Dawn に救助されトラック諸島（現在のチューク諸島）に曳航

その後トラック諸島で破損したヨットの補修パーツの到着と修理を待ちました

そして時折 KC6CI のコールサインと無線設備を借りて本国や私と連絡をとっていました

今回遭難したヨットは、ニュージーランドで建造された Ferro cement (フェロセメント) 製の 48 feet 2 本マストケッチ

Hei-konei-ra 号

で1979年9月始め船長以下乗員6名でシドニーから出航し、

ラバウル (P29)

トラック諸島 (KC6)

グアム (KG6)

台湾 (BV)

に寄港する予定でした

私は9月末、ラバウル沖を航行中の VK2DGS/MM と 21MHz SSB での初交信以降、彼と早朝交信を楽しんでいました

次の寄港地トラック諸島 (KC6) に着く前に台風に会い遭難したわけです

予定ではゴードンは台湾で下船後、飛行機で長崎 → 名古屋、春日井に来て当局宅で一二泊 東京よりたぶん東南アジアに向かうそうである。

参考

船のプロフィール

船名 Hei-konei-ra

48 feet 2本マストケッチ

フェローコンクリート製

乗員

オーナー Arnold Carey

Arnold Carey

Gordon Sanders

Geof

Stephan

monique

Robert

カナダ人 48才

オーストラリア人.48才

Bruncher オーストラリア人 25才

ベルギー人 33才

ベルギー人 25才

アメリカ人 24才

搭載 Maritime Radio 主に入港出港の際に使用

SSB, CW 150 W

18224.125MHZ他 20個のチャンネルあり

Call Sign はオーストラリアやカナダからも免許が下りなかった為船名の

Hei-konei-ra

FT-7(八重洲無線) 20W入力

バッテリー使用

メインマストのバックステーをロングワイヤーとして利用

関係局の Call Sign

VK2DGS/MM ゴードン

VK2NND. John Mclean. Vaucluse NSW

VK2DGS Gordon Sanders Lindfield NSW

VK2NOT Colins Marks.

JE2ARR.. KENICHI WATANABE Kasugai

VK4NMV (Bob)R.W. Mann townsvill QLD 現在VK4WJ

後記

この翌年1980、VK2DGS は再びヨットで遭難しています

彼らが1930年製の大型ヨット Thisbe でニューサウスウェールズ州コッフスハーバーを出港して間もなく、ブリスベン北方のフレイザー島サンディ岬の沖合でのことです

この件は後日、VK2DGS ゴードンから送られて来た新聞で知りました

無事救助されよかったです

この後、ゴードン来日編、夢の新婚サバイバル無線旅行編に続きます

「僕には鳥の言葉がわかる」(小学館)

農作物を中心とした植物を農学部で学び、教職に就いて、中高生に生物を教えるために来ました。その中で、動物についての知識の不足を思い、特にその生態を中心に興味を持ち、本格的に学ぶようになったのが、40代に(しじゅう代)になってからです。

職を離れてもうすぐ、四分の一世紀近くになります。今でも新刊案内があると手に入れていきます。そんな中、最近届いた中から、表題の「僕には鳥の言葉がわかる」を紹介します。



古代ギリシャ時代から現代まで、言葉を持つのは人間だけだと決めつけてきた。しかし、シジュウカラたちは、それが間違いであることを教えてくれた。人間には人間の言葉があるように、鳥には鳥の言葉がある。

著者は、長年シジュウカラを観察・研究し、鳥の言葉を解明し、動物言語学を切り開いた、東大准教授、鈴木俊貴(動物言語学者)です。

「シジュウカラ(四十雀)は、和名は地鳴きの「ジジジッ」が「シジュウ」に聞こえることに由来する説やスズメの40倍珍しいことに由来する説などがある。」



シジュウカラの言葉一例

チチチチ=集まれ

ヒヒヒ=鷹を見つけた

ビビビビビ=餌をねだる雛のの声

ツツピーツツピー=縄張り宣言

ジャージャー=蛇という意味の声

ピーツピ=警戒しろ

ピーツピ・チチチチ=警戒して・集まれ

この他、手元には、著者、鈴木俊貴氏が、犬山モ

ンキーセンターや我が故郷屋久島で日本ザルやアフリカでゴリラなど霊長類を研究され、京大総長を務めた山極寿一氏との対談集「動物たちは何をしゃべっているの?」があります。(写真=Wikipedia)

by JA2SZX



懐かしい写真出てきました 1998年11月15日と読み取れます、26年前ですね。

皆さん若いですね

INFORMATIONS FROM KASUGAI CLUB

編 集 余 記

◎訃報

1月5日にJA2ARN 榊間 OM が永眠されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

OM は当クラブ発足時からの貢献者でもあり、会話にはユーモアたっぷりの笑いあり雰囲気明るくして下さいました。

敦賀のキャンプでは子供達に泳ぎの指導も、当局の娘もその一人で、小3の頃だったと思います。まず水に慣れさせる事だと子供を抱かえ「目はつぶるな!」と水に幾度もドボン、娘もくじけず教育を受けていたようです。今も覚えていると言っていました。



1992年頃 CQ かすがい連載「シャック訪問」から



白いのは雪です

◎寒波襲来と寒い日が続いていますが、春の季節を心なしか感じ取っているのでしょうか、梅の花芽もほころび始めているように思います。早く暖かくなってほしいですね。

CQ かすがい

NO、 645号

令和 07年 2月 9日 (毎月1回発行)

発行 JARL 春日井アマチュア無線クラブ

発行者 JA2EQ・高蔵寺町 JA2CAY・小木田町 JA2DRK・守山区
JA2GBA・勝川町

編集、印刷 JA2IDZ・守山区 JA2LAZ・神屋町 JA2SZX・高蔵寺町
JI2DQT・高蔵寺町 JK2RGS・神領町 JH2CHI・細野町
JO2IKG・藤山台 JS2NQK・高蔵寺町